

東京臨海副都心とテレコムセンター

超高層ビルが林立する汐留から新交通「ゆりかもめ」に乗って、久しぶりに東京臨海副都心に向かった。さすが巨大都市・東京だけあって、「ゆりかもめ」は万博後の「リニモ」などと違って乗客は多かった。新たに高層ビルが建設され、とくに若者に人気といわれる「アクアシティお台場」あたりは混雑していた。お台場にはホテルやフジテレビなどもあり、

観光スポットにもなっている感じだ。

「船の科学館」を通過して



テレコムセンターに向かうと急に寂しくなる。日曜日ということもあるが、入口付近にもほとんど人がいなく、静まりかえっている。とにかく上から副都心を眺めるために、500円払って展望コーナーに行った。数名の見物客だけであり、じっくりと副都心や東京湾を観察できた。このあたりで旋回して、羽田空港に向

かう飛行機がよく見えた。展望室のフロアは、写真のように閑散としていた。テレコムセンターは巨額の赤字を抱える第三セクターであり、



玄関の看板には東京都職員研修所といった表示がやたら目についた。

この日は広大な空き地(駐車場?)でクラシック・カーのイベントが行われていたので、まだ人が多かったようだ。これからも東京臨海副都心を観察して、公共事業や都市開発のあり方を考えていきたい。

(2006年2月7日 記)